

令和 7 年度事業報告書

令和 7 年度は、引き続き円滑な組織・事業運営を確保するとともに、都道府県緑化推進委員会と連携を保ちつつ、緑の募金事業や緑と水の森林ファンド事業等を通じ、多様な主体による国民参加の森林づくり等国土緑化運動の一層の推進を図り、併せて「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成や「2030 年ネイチャーポジティブ」、「2050 年カーボンニュートラル」の実現等への貢献に努めた。

また、森林や自然に対する関心を深めるため、関係団体等と連携協力の下、森林 ESD（森林環境教育）の推進に努めるとともに、未来の緑や森林づくりを支える緑の少年団等の活性化に努めた。

さらに、東日本大震災や能登半島地震、山火事等の被災地域の緑化や防災林等の整備のための支援を実施した。

I 国土緑化推進事業

1. みどりの祭典

緑化意識の更なる高揚と、国民参加の森林づくりを一層推進するため、全国植樹祭、全国育樹祭等のみどりの祭典の開催について、緑の少年団や森林ボランティア等を含む幅広い国民の参加を得て取り組んだ。

令和 7 年度みどりの祭典の実施状況

行事名 実施時期 場所	主 催 者	行 事 概 要
○第 76 回全国植樹祭 ・式典 時期：令和 8 年 5 月 17 日 場所：愛媛県松山市 （愛媛県総合運動公園）	国土緑化推進機構 愛媛県	*天皇皇后両陛下御臨席 テーマ「育てるけん 伊予の国から 緑の宝」 参加者：約 4,600 人 お手植え：スギ（無花粉）、クスノキ、クヌギ、ヒノキ（少花粉）、タチバナ、トキワバイカツツジ お手播き：クロマツ、ツブラジイ、ヤブツバキ、イロハモミジ 併催行事：第 54 回全国林業後継者大会、緑化関連イベント
○第 48 回全国育樹祭 ・お手入れ 時期：令和 7 年 10 月 4 日 場所：宮城県白石市 （国立花山青少年自然の家南蔵王野営場） ・式典 時期：令和 7 年 10 月 5 日 場所：利府町 （宮城県総合運動公園）	国土緑化推進機構 宮城県	*皇嗣同妃両殿下御臨席 テーマ「次世代へ みどりのかけ橋 森づくり」 参加者：約 2,700 人（スタッフ除く） お手入れ内容：皇嗣同妃両殿下による枝打ち・施肥 併催行事等 ① 全国緑の少年団活動発表大会 ② 育林交流集会 ③ 森林・林業・環境機械展示実演会

行事名 実施時期 場所	主 催 者	行 事 概 要
○第 35 回みどりの感謝祭 ・式典 時期：令和 8 年 5 月 9 日 場所：東京都 （イイノホール） ・みどりとふれあうフェスティバル 時期：令和 8 年 5 月 9 日・10 日 場所：八王子市（高尾 599 ミュージアム）	農林水産省 林野庁 東京都 国土緑化推進機構 日本緑化センター 日本森林林業振興会 東京都農林水産振興財団東京緑化推進委員会	※名誉総裁佳子内親王殿下御臨席 テーマ「感じよう みどりの恵みと 木のぬくもり」 参加者：式典：約 280 人（スタッフ除く） みどりの文化賞の顕彰 ・小川 三夫 参加者：みどりとふれあうフェスティバル：約 3, 800 人（スタッフ除く）

2. 全国緑化キャンペーン

国民の各層に緑化活動への参加の輪を広げ、国土緑化運動の大幅な前進を図るため、全国緑化キャンペーン期間（1 月 15 日～5 月 31 日）を設定し、各種の全国共通キャンペーンを集中的に実施した。

令和 7 年度全国緑化キャンペーンの実施状況

実施期間	1 月 15 日～5 月 31 日
共通スローガン	「植える」緑化から「使う」緑化へ
共通アイドルキャラクター	“どんぐりくん”、“どんぐりちゃん”
共通キャンペーンの内容	① 緑の羽根着用キャンペーン ② 国土緑化ポスターキャンペーン ほか

3. 緑化運動各種コンクール及び緑化功労者等各種表彰

幅広い国民の緑化意識の高揚を図るため、引き続き、国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール、全日本学校関係緑化コンクール、緑化功労者の表彰、緑の少年団活動優秀団体の表彰等を行った。

令和7年度各種コンクール及び表彰の実施状況

名 称	受 賞 者	表 彰 会 場	備 考
国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール	特 選 6 点 準特選 9 点 入 選 36 点	第 76 回全国植樹祭	応募点数 23,757 点 応募校数 2,096 校
国土緑化運動・育樹運動標語の募集	特 選 2 点 入 選 8 点	全国緑化推進委員会連絡協議会	推薦 33 道県 320 点 (全国応募数 17,310 点)
全日本学校関係緑化コンクール	特選 4 校 準特選 12 校 入選 12 校 ノースロップ賞 1 個人	第 76 回全国植樹祭	
緑化功労者の表彰	農林水産大臣賞 3 名 機構会長賞 3 名 林野庁長官賞 7 名 機構理事長賞 3 名	第 76 回全国植樹祭	
緑の少年団活動優秀団体の表彰	大会会長賞 5 団 機構理事長賞 5 団 少年団連盟会長賞 5 団	第 48 回全国育樹祭 緑の少年団交流大会	
緑の少年団育成会の表彰	団体 1 団体 個人 1 名	第 48 回全国育樹祭	
全国育樹活動コンクール	① 団体の部 農林水産大臣賞 1 団体 林野庁長官賞 2 団体 機構理事長賞 3 団体 ② 個人の部 なし	第 48 回全国育樹祭	
ふれあいの森林づくり表彰	機構会長賞 4 団体 機構理事長賞 5 団体	第 48 回全国育樹祭	

4. 普及啓発活動

国民参加の森林づくり運動の普及を図るため、以下の活動を行った。

- (1) こどもの森づくりフォーラム in 奈良の開催
(令和7年11月16日(奈良県奈良市))
- (2) 「国民参加の森林づくりシンポジウム」の開催
(令和7年11月29日(和歌山県和歌山市))
- (3) 「緑の募金だより」等で、緑化運動の普及に努めるとともに、当機構ホームページの充実に努めた。
- (4) ミス日本協会との連携により、令和8年1月の「ミス日本コンテスト」の選考において「2026 ミス日本みどりの大使」を選定するとともに、みどりの大使による森林・みどりの重要性をPRする活動を支援した。
- (5) 「みんなでつくる森の未来地図2～ネイチャーポジティブハンドブック」の発行
ネイチャーポジティブについて、事例等も入れてわかりやすく解説する冊子を作成、発行し、WEBでも公開した。
- (6) 「みどりのみかた～めざせ！みどりの調査員！」の発行
緑の少年団など、小学生を対象とした生物多様性の理解を促進させるためのワークブックと、指導者用テキストを作成した。緑の少年団に配布したほか、WEBでも公開した。

5. 青少年緑化活動

青少年の緑化活動の推進を図るため以下の事業を実施した。

- (1) 緑の少年団活動
緑の少年団は全国で2,955団、305,859名(令和8年1月1日現在)となっており、当機構ホームページ等により情報の発信に努めるとともに、少年団活動を促進するため、23団に活動経費を助成した。
また、緑の少年団指導者研修交流会(全国2ブロックで実施)等を通じて、緑の少年団活動の推進を図った。
- (2) 学校林活動
当機構ホームページにより学校林等のフィールドの利活用情報を発信するとともに、緑と水の森林ファンド事業を通じて学校林活動の推進を支援した。
また、都道府県緑化推進委員会及び森林ボランティア団体等と連携して森林環境教育促進事業を19校で実施するなど学校林活動の推進を図った。

6. 森林サービス産業の推進

森林サービス産業の推進を図るため、以下の事業を実施した。

- (1) 森林所有者による「森林サービス産業」推進事業
森林所有者への「森林サービス産業」の普及啓発と参入促進を目的とした「森林サービス産業白書」が完成し、4月に刊行した。完成を記念し、日本森林学会・林業経済研究所との共催による公開講演会を開催した。

(2) 森林コンテンツ・普及対策事業

企業における森のプログラムの利用促進を目的として、企業のニーズ調査・分析、優良事例の収集・分析、セミナー、フォーラムの開催等による企業と地域のマッチング機会の創出を行った。

(3) 森林サービス産業マッチングプラットフォーム WEB サイトの運営

森林サービス産業の推進に意欲的な地域を「森林サービス産業推進地域」として登録し、WEB サイトで紹介するなど情報発信を行った。また、運営事務局を林野庁森林利用課と共同で担い、より一体的な推進地域の支援を図った。

7. 新たな森林づくり推進国民運動の展開

(1) 「フォレスト・サポーターズ」の推進

多様なセクターと密接な連携・協力を図りつつ、エコプロ 2025 などの各種イベント等を通じて「フォレスト・サポーターズ」への登録・参画を積極的に呼び掛けた。(令和 8 年 6 月末現在 7 万 3 千件の登録)

(2) 森林づくり全国推進会議の取組

「森林づくり全国推進会議」の事務局として SDGs の達成やカーボンニュートラルの実現に寄与する森林づくりを推進した。

林野庁、「林業復活・地域創生を推進する国民会議」等と連携・協力し、シンポジウムや勉強会を開催した。

8. 森林 NPO・ボランティアや企業による森林づくり活動

緑の募金や緑と水の森林ファンドの事業を活用し、森林 NPO・ボランティア団体の活動を支援した。

また、企業・NPO・ボランティア団体・森林所有者をつなぎ、マッチングやコーディネートを行うサポート団体を公募により選定し支援するとともに、ポータルサイト（森ナビ・ネット）の情報の充実に取り組んだ。

さらに、全国のボランティアが集い意見交換する「森林と市民を結ぶ全国の集い 2026」を、流域を活かす社会づくりをテーマにオンライン及び現地（山梨県小菅村）でそれぞれ開催した。

9. 東日本大震災や能登半島地震等の自然災害の被災地復興支援への取組

東日本大震災で被災した海岸防災林の再生を目指し、関係する企業・NPO 等とのネットワークの充実に図るとともに、被災地の現状や支援の取組に関する情報の収集・提供活動等を進めた。

また、緑の募金等を活用し、被災した海岸林の再生等被災地域の復興に引き続き取り組むとともに、能登半島地震等の災害被災地のニーズに応じたきめ細かな緑化支援活動を進めた。

Ⅱ 緑の募金

国民の森林づくりへの関心を、緑を守り育てる具体的な運動に結びつけるため、「緑の募金 全国一斉強調月間」を設定し積極的な募金活動を展開するとともに、多様な募金事業を実施した。

1. 緑の募金推進体制の整備と募金活動の推進

(1) 推進体制の整備

全国組織を持つ各種団体、コンビニエンスストア、フランチャイズチェーン等に緑の募金への協力を要請した。

(2) 普及啓発・広報活動の実施

「緑の募金で進めよう SDGs」をスローガンに、「森林を守る 森林を活かす」のポスター・キャッチコピーも活用し、「緑の募金キャンペーン 2026」を「みどりの月間」を中心に実施した。

国土緑化巡回写真展「日本の森林いまむかし～蘇る山々の緑～」を開催し、地球温暖化防止や森林保全の重要性などを呼び掛けた。

森林が持つ様々な役割や大切さを子どもたちに伝える「森の教室」を、令和 8 年に全国植樹祭・育樹祭を開催する愛媛県及び和歌山県を含む 22 都道府県 67 か所で開催し、5,636 人の園児が参加した。

また、「緑の募金法制定 30 周年記念誌」の発行・配布や、「緑の募金法制定 30 周年記念シンポジウム」を開催し、平成 7（1995）年に「緑の募金法」が制定されてからの 30 年間の活動を振り返るとともに、国民各層に広く成果等を発信した。

このほか、団体等機関広報誌、協賛広告との連携及びマスコミへの情報提供並びにホームページや SNS 活用等により情報発信の充実に努めた。

(3) 募金活動の強化

企業、団体等に対し積極的に募金要請を行うとともに、ホームページや各種媒体により募金への協力を呼び掛けた。また、国土緑化推進機構の「緑の募金」ホームページから各都道府県緑化推進委員会の募金ページに容易にアクセスできるポータルサイト「ふるさとの森づくり支援サイト」を整備した。さらに、東日本大震災や能登半島地震、山火事等の被災地の復旧支援に充てるため、使途限定募金への協力を呼び掛けるとともに、募金状況や事業の実施状況をホームページで公表した。

この結果、令和 7 年度の緑の募金額（中央募金）は、緑の募金収入 2 億 4,540 万円に加え、特定事業寄附金収入等を合わせ 5 億 5,027 万円になった。

2. 緑の募金事業の実施

緑の募金事業の実施に当たっては、全国的又は国際的見地からモデル性のあるものを優先して、直接事業 117 件、公募事業 165 件、計 282 件を助成した。

直接事業のうち、東日本大震災や能登半島地震、山火事等の被災地域の復旧に向けて、防災林等の森林整備や居住地域周辺や学校周辺の緑化及び避難所等の環境整備等を「緑の募金」により支援する「東日本大震災復興支援事業」及び「能登半島地震復旧支援事業」につき5件を助成した。また、学校周辺での緑化活動を通じて環境整備を推進する「学校環境緑化モデル事業」を80件で助成した。

さらに、全国の森の名人等を訪ね、高校生が森とともに生きる知恵や技などを「聞き書き」により記録し発信する「聞き書き甲子園」は、WEBを併用して研修の上現地取材を実施し、成果報告の場としてフォーラムを開催（WEB併用）した。

募金事業の実施概要は以下のとおりである。

令和7年度緑の募金事業の実施状況

事業項目	事業内容
森林整備	① Forest Style 普及に向けた森林づくり（神奈川県他） ② 企業等の参画による森林づくり（全国） ③ 地球温暖化防止や生物多様性保全に向けた森林づくり（静岡県他） ④ 東日本大震災復興支援（宮城県他） ⑤ 能登半島地震復旧支援（石川県） ⑥ 公募事業「国境離島社会の存続に向けた水源林の整備」 等 （助成事業内訳 直接事業 26 件 公募事業 56 件 計 82 件）
緑化推進	① 国土緑化の普及・啓発・推進（全国） ② 青少年の体験学習の森林づくり（全国） ③ 全国植樹祭等関連（和歌山県） ④ 東日本大震災復興支援（宮城県） ⑤ 公募事業「間伐に伴う環境変化調査と間伐材の有効活用」 等 （助成事業内訳 直接事業 85 件 公募事業 72 件 計 157 件）
国際協力	① アジア・オセアニア森林造成（インドネシア他） ② アフリカ森林造成（マリ） ③ SDGs 達成貢献（フィリピン） ④ 緑の国際ボランティア研修（カンボジア） ⑤ 公募事業「インドネシア・タンブリンガン湖の保全事業」 等 （助成事業内訳 直接事業 6 件 公募事業 37 件 計 43 件）

Ⅲ 緑と水の森林ファンド

1. 緑と水の森林ファンドの適切な運用

緑と水の森林ファンドについては、令和7年度末残高は175億4,038万円であり、特に昨今の歴史的な円安など金融を取り巻く内外情勢を踏まえ、安全性の確保を図りつつ効率的な運用に努めた結果、令和7年度の運用収入は425百万円となった。

2. 緑と水の森林ファンド事業の実施

令和7年度の事業実施に当たっては、国内外における森林に対し、地球温暖化の防止、国土の保全、水資源のかん養、森林環境教育の場の提供など、森林・みどりへの関心・理解が深まってきていることを踏まえ、「国民参加の森林づくり」運動につなげるために、SDGsの普及定着の促進を基本的理念としつつ、次の重点課題を中心に事業を実施した。

(事業の重点課題)

- ① 人生100年時代におけるライフステージに応じた森林空間利用の促進
- ② 「緑や水」「森林と木材の利用」「震災復興支援」など森林に関する総合的・効果的な普及啓発
- ③ 地域材の利用推進等山村資源の有効活用等による山村地域の活性化
- ④ リーダーの養成、森づくり活動における安全確保、ネットワーク形成支援等による森林ボランティア活動支援
- ⑤ 学校林活動など森林ESD（森林環境教育）の促進や緑の少年団活動支援、中高等教育との連携等による次世代の育成
- ⑥ 森林の公益的機能、持続的な森林づくりの循環等に関する調査研究

4 各事業の実施状況

(1) 中央事業

区 分	事 業 内 容	摘 要
1 普及啓発 (49 件)	(1) 普及啓発活動等 ・みどりの感謝祭 ・みどりの文化賞の顕彰 ・ミス日本みどりの大使による普及啓発 ・高校生の提案によるSDGs実現に向けた提案の具体化に向けた取組 ・森林と生物多様性普及啓発教材の作成 ・ホームページ等の充実 ・機構名入れカレンダーへのポスター原画コンクール応募作品の活用 (2) 各種イベント、シンポジウム等の実施・助成 ・みちのく潮風トレイル トレイルメンテナンスミーティング 2025 in 大船渡 ・日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取 予選会および決勝大会の開催 ・木材利用推進シンポジウム（東京都） ・国民参加の森林づくりシンポジウム（和歌山県） ・こどもの森づくりフォーラム in 奈良（奈良県） ・森林・木材に関する公開シンポジウム（北海道） (3) 地方活動への助成等	
2 調査研究 (9 件)	(1) 森林所有者による「森林サービス産業」推進事業 (2) ネイチャーポジティブの社会実装に向けた森林と河川の生態系評価技術の高度化 (3) 「木造文化財建造物修理用材の持続的な確保と社寺有林の価値を守る管理についての連携事業 (3) 東京大学等における林政史資料の保全とデータベース構築 (4) 地球温暖化による気候変動下における森林火災の動向とその対策 (5) 学校林現況調査等	
3 活動基盤整備 (16 件)	(1) 森林ボランティア活動の推進・支援等 ・森林と市民を結ぶ全国の集い (2) 全国緑の少年団連盟等への活動支援 ・緑の少年団指導者研修交流会 ・緑の少年団活動促進事業 ・緑の少年団交流促進事業 ・都道府県連盟への活動支援 等 (3) 全日本学校関係緑化コンクール	

区 分	事 業 内 容	摘 要
	(4) 学校林を活用した森林環境教育の促進 (5) 高校生ポスター発表会（日本森林学会） (6) みどりの手帳の改訂 等	
4 国際交流 (1 件)	(1) 日・インドネシア高校生「緑の国際交流」2026	
合計 75 件		

(2) 都道府県事業

区 分	事 業 内 容	摘 要
1 普及啓発 (112 件)	(1) 森林づくり運動キャンペーン 緑化推進大会、グリーンフェスティバル、講演会、県植樹祭、みどりに親しむ集い、森林フォトコンテスト・作文コンクール、森林ふれあい交流、緑化普及資材配布 (2) 山村地域等の活性化 地域林業祭、ふるさと緑化推進活動、森林・木とのふれあい交流、山村フェア等 (3) 住民参加の森林づくり 家族での緑とのふれあい、森林・木ふれあい活動、森林友の会育成、巨樹・巨木巡りツアー、地域住民による緑化推進活動 (4) 青少年の森林環境教育 緑の体験教室、森林・緑・自然に親しむ集い、森のようちえん、森林林業体験教室、森林・巨樹巨木とのふれあい事業、自然観察会 (5) 木材需要拡大等 木製品普及啓発、利用拡大推進活動、ウッドフェスタ、森と木の暮らしフェア等	
2 調査研究 (4 件)	(1) ふるさとの杜・樹木活力調査関係等	
3 活動基盤整備 (50 件)	(1) 森林ボランティア活動の支援 (2) 森林ボランティアリーダーの養成 (3) 農山村と都市住民等との交流促進 (4) 山村活性化と森林整備 (5) 青少年育成の場としての森林活用促進 (6) 地域のシンボルの森林の利活用促進等	
4 国際交流 (0 件)		
合計 166 件		

(3) 公募事業

全国各地から幅広く応募のあった 125 件のうち 119 件を採択し事業費の一部について助成した。

事業区分	事業内容	摘要
1 普及啓発 (77件)	(1) 森林・緑・水に対する国民の認識を深めるための普及啓発活動 (2) 青少年を対象とする森林 ESD (森林環境教育) の推進 (森のようちえんを含む) 等森林環境教育の促進 (3) 森林づくり活動や森林の総合的利用を通じた山村地域の活性化・地域づくり運動の推進 (4) 地域材の利用・木材需要の拡大、木質製品利用推進に関する普及啓発等	
2 調査研究 (24 件)	(1) 園庭や裏山等を活用した自然保育に関する実証的研究 (2) 森林医学に基づいた予防・健康づくりを担う医師養成システムのあり方に関する実証的研究 (3) 森林 (人工林) における自然共生サイト回復タイプ適用の可能性の検討等	
3 活動基盤整備 (14件)	(1) 森でコミュニケーションしよう「里山再生プロジェクト」 (2) 里山・自然体験リーダー・インストラクター人材の育成等 (3) 安全な森林づくり推進事業等	
4 国際交流 (4件)	(1) 国際モデルフォレストネットワークアジア地域連携強化事業 (2) 大阪・関西万博における森林に関する国際会議事業等	
合計 119件		

IV 運営体制の充実を図るための取組

1 外部監事の選任

外部監事の選任にあたり、特に緑と水の森林ファンドの資産運用に関する監査の向上を図るため、ファイナンシャルプランナーの資格を有する者を選任した。

2 事業実行等に係る懸案事項等の情報共有等

常勤理事等による会議を毎月開催し、各事業部門における事業実行等の進捗状況及び懸案事項等について情報の共有を図るとともに、必要に応じて対応策の検討を行った。

また、毎月開催する全職員による会議等を通じて、懸案事項等及びその対応策について周知を図った。

3 寄附金に関する不適正事案への対応

各種の寄附金に関する不適正事案について情報収集し、部内での寄附金の取扱いについて注意喚起するとともに、会員である都道府県緑化推進委員会にも周知・注意喚起するなど、コンプライアンスの向上に取り組んだ。

参考資料

1. 令和7年度主な緑化行事

(単位:人)

	行 事 名	開催時期	開催場所	行 事 内 容	主催者	参加者数
1	緑の募金キャンペーン 2025秋	9月1日(月)～ 10月31日(金)	全国	スローガン:「緑の募金で進めようSDGs」、ポスター、シール、リーフレット、募金箱等	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	—
2	森林ボランティアの日	9月第3日曜日	全国	森林ボランティア活動のイベントを集中的に実施	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会 参加ボランティア団体	—
3	全国巡回型プログラム 「森の教室～どんぐりくんと森の仲間たち～」	9月26日(金)～ 6月16日(火)	22都道府県67か所の 保育園・幼稚園	キャラクターショーによる森林教室、森のダンス、どんぐり苗木づくり	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会	5,636
4	第48回全国育樹祭	10月4日(土)・5 日(日)	お手入れ:白石市 (国立花山青少年 自然の家南蔵王野 営場) 式典:利府町(宮 城県総合運動公 園)	テーマ:「次世代へ みどりのかけ橋 森づくり」 皇嗣同妃両殿下御臨席	国土緑化推進機構 宮城県	2,700
5	全国緑の少年団活動発表 大会	10月4日(土)	宮城県白石市(白 石市文化体育活動 センターホワイト キューブ)	緑の少年団活動の優良事例発表 (5団)	国土緑化推進機構 宮城県 全国緑の少年団連盟	500
6	育林交流集会	10月4日(土)	宮城県名取市(名 取市文化会館)	事例発表	宮城県 国土緑化推進機構	300
7	第4回森林づくり全国推 進会議	11月4日(火)	東京都木材会館/ WEB配信	シンポジウム	森林づくり全国推進 会議(事務局:国土 緑化推進機構)	136
8	こどもの森づくりフォー ラム in 奈良	11月16日(日)	奈良県奈良市	基調講演、パネルディスカッ ション、分科会、パネル展示、 こども自然フェスタ、自然保育 講座 等	こどもの森づくり フォーラム実行委員 会	延べ347 (フォーラム +分科会)
9	国民参加の森林づくりシ ンポジウム	11月29日(土)	和歌山県和歌山市	基調講演、パネルディスカッ ション	和歌山県 国土緑化推進機構 朝日新聞社 森林文化協会	217
10	緑の少年団指導者研修交 流会	11月29日(土)～ 12月6日(土)	東京都・大阪府	各県緑の少年団連盟関係者、指 導者の研修・交流会	全国緑の少年団連盟 国土緑化推進機構	16
11	エコプロ2025「森と木で 拓くSDGsゾーン」	12月10日(水) ～12日(金)	東京国際展示場 「ビッグサイト」	フォレストサポーターズ等の参 加促進、展示	国土緑化推進機構等	59,873
12	「緑の募金」セミナー	12月17日(水)	東京都内(アルカ ディア市ヶ谷私学 会館)	緑の募金を活用した森林ボラン ティア等による活動事例の紹介 とともに、地域における企業等 と連携した募金活動の方策を考 える	国土緑化推進機構	53
13	全国緑化キャンペーン 2026	1月15日(木)～ 5月31日(日)	全国	スローガン:「『植える』緑化 から『使う』緑化へ」 ポスター、マスコミを活用した 広報等	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委 員会	—
14	緑の募金キャンペーン 2026春	1月15日(木)～ 5月31日(日)	全国	スローガン:「緑の募金で進め ようSDGs」 ポスター、マスコミを活用した 広報、リーフレット、募金箱、 ラジオCM、テレビCM用VTR等	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委 員会	—

	行 事 名	開催時期	開催 場 所	行 事 内 容	主催者	参加者数
15	緑の募金・森林ファンド 助成セミナー	2月上旬～3月上旬	WEB開催	令和8年度の緑の募金・森林 ファンド公募事業に係る相談会	国土緑化推進機構	27
16	緑の募金法制定30周年記 念シンポジウム	3月13日（金）	東京都内（TKP赤 坂カンファレンス センター）	これまでの30年間の緑の募金に よる国際協力事業の活動を振り 返るとともに、さらなる展開に 向け機運を高める	国土緑化推進機構 国際緑化推進セン ター	197
17	第24回聞き書き甲子園 フォーラム	3月22日（日）	国立オリンピック 記念青少年総合セ ンター国際会議室 （WEB併催）	受賞作品紹介、森・川・海の名 人と高校生の体験談	聞き書き甲子園実行 委員会	461
18	緑の募金 全国一斉強調月間	4月15日（水）～ 5月14日（木）	全国	「緑の募金で進めようSDGs」を スローガンに各種のイベント、 募金など多様な活動を展開	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委 員会	—
19	森林と市民を結ぶ全国の 集い2026	4月22日（水） 6月10日（水） 6月13日（土）・ 14日（日） 6月23日（火）	東京都／WEB配信 ／山梨県小菅村	テーマ：「森と水をどう守る？ ～流域を活かす社会づくり～」 基調講演、オンラインセッシ ョン、フィールドセッション	「森林と市民を結ぶ 全国の集い2026」実 行委員会 国土緑化推進機構	520
20	みどりの大使による「緑 の羽根着用キャンペーン」	4月中旬～5月中 旬	東京都内他	内閣総理大臣や経済界の要人等 に、みどりの大使より「緑の羽 根」の着用をお願い	国土緑化推進機構	—
21	みどりの日	5月4日（月・祝）	全国	自然観察会、森林ボランティア 活動など	国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委 員会	—
22	第35回みどりの感謝祭	5月9日（土）～ 5月10日（日）	東京都（イイノ ホール、高尾599 ミュージアム）外	式典（名誉総裁佳子内親王殿下 御臨席、みどりの文化賞表彰、 山火事予防ポスター作品表彰 など） 併催行事（緑のフェスティバ ル） 協賛行事（全国10箇所）	みどりの感謝祭運営 委員会	18,700
23	第76回全国植樹祭	5月17日（日）	愛媛県松山市（愛 媛県総合運動公 園）	テーマ「育てるけん 伊予の国 から 緑の宝」 天皇后両陛下御臨席	国土緑化推進機構 愛媛県	4,600
	以下余白					

2. 各種コンクール及び表彰の実施状況

(1) 令和8年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者

賞	受賞者		
小学校の部			
特選			
文部科学大臣賞・国土緑化推進機構会長賞	杉山 晴紀	愛知県 西尾市立西尾小学校	3年 (育樹運動ポスターとして採用)
農林水産大臣賞	佐藤 彩羽	山形県 長井市立長井小学校	1年
準特選			
林野庁長官賞	堤 珠希	島根県 出雲市立神戸川小学校	6年
	白石 萌々子	山口県 山口市立嘉川小学校	5年
	毛利 彩乃	佐賀県 小城市立晴田小学校	3年
入選			
国土緑化推進機構理事長賞	山内 新	山形県 長井市立長井小学校	2年
	石井 怜央	茨城県 高山学園つくば市立香取台小学校	4年
	菅田 未紗希	千葉県 船橋市立薬円台小学校	5年
	劉 ルナ	東京都 港区立白金の丘小学校	4年
	斯波 旺希	神奈川県 伊勢原市立伊勢原小学校	3年
	大野 結愛	神奈川県 相模原市立向陽小学校	4年
	戸嶋 いろは	新潟県 新潟市立女池小学校	1年
	松田 果英	新潟県 上越市立板倉小学校	2年
	内木 睦太	岐阜県 岐阜市立鶉小学校	3年
	岡島 弥生	愛知県 豊山町立豊山小学校	2年
	木野 瑞樹	滋賀県 長浜市立南郷里小学校	6年
	高橋 朔	滋賀県 長浜市立南郷里小学校	1年
	森内 彩葉	京都府 南丹市立園部第二小学校	2年
	松村 和奏	兵庫県 神戸市立糺台小学校	6年
	入江 柚依	奈良県 葛城市立忍海小学校	5年
	水沼 青笹	香川県 高松市立前田小学校	1年
	河井 茉里花	鹿児島県 鹿児島市立星峯西小学校	5年
	砂川 桜寿	沖縄県 宮古島市立西辺小学校	4年
中学校の部			
特選			
文部科学大臣賞	滝川 瑠美	静岡県 浜松市立東部中学校	3年
農林水産大臣賞	旭 秋音	静岡県 静岡学園中学校	1年

賞	受 賞 者		
準特選			
林野庁長官賞	畠山 結良	北海道 釧路市立青陵中学校	3 年
	保科 里奈	山形県 長井市立長井南中学校	3 年
	山村 咲季	沖縄県 那覇市立鏡原中学校	1 年
入選			
国土緑化推進機構理事長賞	馬場 弥月	千葉県 船橋市立八木が谷中学校	3 年
	大塚 愛	千葉県 香取市立小見川中学校	2 年
	渡辺 優那	神奈川県 伊勢原市立山王中学校	2 年
	高木 玖音滯	岐阜県 安八町立登龍中学校	2 年
	木田 直太	大阪府 大阪市立花乃井中学校	1 年
	福塚 瑠乃	奈良県 五條市立五條中学校	2 年
	出山 碧海	和歌山県 近畿大学附属和歌山中学校	2 年
	原 菜月	島根県 出雲市立河南中学校	3 年
	林 万結	広島県 福山市立鷹取中学校	3 年
	上村 碧	香川県 丸亀市立東中学校	3 年
	紙屋 ひなた	宮崎県 都城市立西中学校	3 年
	許田 珠生	沖縄県 名護市立久辺中学校	3 年
高等学校の部			
特選			
文部科学大臣賞	福永 夏希	和歌山県 和歌山市立和歌山高等学校	2 年
農林水産大臣賞・国土緑化推進機構会長賞	谷 夢叶	栃木県 栃木県立足利工業高等学校 (国土緑化運動ポスターとして採用)	2 年
準特選			
林野庁長官賞	市川 愛菜	山梨県 駿台甲府高等学校	2 年
	三浦 優那	島根県 学校法人水谷学園出雲北陵高等学校	2 年
	遠竹 美優	宮崎県 宮崎県立佐土原高等学校	1 年
入選			
国土緑化推進機構理事長賞	小原 琢磨	岩手県 岩手県立盛岡ひがし支援学校	3 年
	板倉 愛莉	富山県 富山県立富山中部高等学校	3 年
	松島 悠奈	岡山県 岡山県立岡山工業高等学校	2 年
	戒能 渚	愛媛県 愛媛県立松山南高等学校砥部分校	2 年
	知念 加也	沖縄県 沖縄県立小禄高等学校	3 年
	比嘉 麗	沖縄県 沖縄県立浦添工業高等学校	1 年

(2) 令和8年用国土緑化運動・育樹運動標語入賞者

賞	受賞者		
国土緑化運動標語 特選	岡田 富美	富山県 一般	
育樹運動標語 特選	新堀 さくら	茨城県 鉾田市立鉾田北中学校	3年
入選	横田 颯	北海道 京極町立京極小学校	6年
	森 雪乃	茨城県 古河市立駒込小学校	6年
	松原 由彩	神奈川県 茅ヶ崎市立北陽中学校	1年
	長澤 悠翔	静岡県 静岡県富士見中学校	3年
	永坂 紫乃	愛知県 碧南市立日進小学校	6年
	作田 拓斗	兵庫県 兵庫県立農業高等学校	2年
	吉村 優那	佐賀県 小城市立牛津小学校	6年
	黒木 直子	宮崎県 一般	

(3) 令和7年度全日本学校関係緑化コンクール入賞団体

賞	受賞者	
① 学校林等活動の部		
小学校		
特選 農林水産大臣賞・日本放送協会会長賞	愛知県	豊田市立浄水北小学校
準特選 国土緑化推進機構会長賞	長野県	伊那市立伊那北小学校
	静岡県	袋井市立袋井南小学校
	鹿児島県	曾於市立恒吉小学校
入選 国土緑化推進機構理事長賞	山形県	白鷹町立東根小学校
	福島県	西郷村立熊倉小学校
中学校		
特選 農林水産大臣賞	該当なし	
準特選 国土緑化推進機構会長賞	宮崎県	西米良村立西米良中学校
	鹿児島県	三島村立三島竹島学園
入選 国土緑化推進機構理事長賞	該当なし	
高等学校		
特選 農林水産大臣賞	該当なし	
準特選 国土緑化推進機構会長賞	秋田県	秋田県立能代支援学校
入選 国土緑化推進機構理事長賞	山梨県	山梨県立吉田高等学校

賞	受賞者
② 学校環境緑化の部	
小学校	
特選 文部科学大臣賞・日本放送協会会長賞	鹿児島県 鹿児島市立西紫原小学校
準特選 国土緑化推進機構会長賞	埼玉県 秩父市立久那小学校 広島県 東広島市立志和小・中学校
入選 国土緑化推進機構理事長賞	福島県 会津若松市立大戸小学校 山梨県 昭和町立押原小学校 宮崎県 綾町立綾小学校
中学校	
特選 文部科学大臣賞	愛媛県 高知県宿毛市愛媛県南宇和郡愛南町篠山小中学校 組合立篠山小中学校
準特選 国土緑化推進機構会長賞	秋田県 大仙市立太田中学校 山口県 周南市立住吉中学校 鹿児島県 十島村立口之島学園
入選 国土緑化推進機構理事長賞	宮城県 大崎市立古川北中学校 埼玉県 加須市立昭和中学校 広島県 東広島市立西条中学校 熊本県 熊本市立楠中学校
高等学校	
特選 文部科学大臣賞	宮城県 仙台市立鶴谷特別支援学校
準特選（国土緑化推進機構会長賞）	栃木県 学校法人開桜学院日々輝学園高等学校
入選 国土緑化推進機構理事長賞	広島県 学校法人呉武田学園呉港高等学校 愛媛県 松山学院高等学校
③ 協力者	
協力賞（ノースロップ賞）（団体の部） （個人の部）	該当なし 愛知県 綿貫 義治

(4) 令和7年度緑化功労者

賞	受賞者
農林水産大臣賞	愛媛県 越智 彰 高知県 濱田 吉成 鹿児島県 鹿児島県森林ボランティア連絡会
国土緑化推進機構会長賞	山梨県 依田 忠紀 京都府 京都森林インストラクター会 和歌山県 日本たばこ産業株式会社
林野庁長官賞	岩手県 特定非営利活動法人 森林ボランティア山仕事くらぶ 栃木県 藤田 清 群馬県 市川 平治 岐阜県 栗谷本 征二 静岡県 長倉 建治 愛知県 特定非営利活動法人 森林真剣隊 佐賀県 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
国土緑化推進機構理事長賞	青森県 久保田 邦男 山形県 西根森づくりの会 山口県 高橋 正演

(5) 令和7年度緑の少年団関係入賞団体

賞	受賞者
全国緑の少年団活動発表大会 みどりの奨励賞 (国土緑化推進機構理事長賞)	北海道 上札内緑の少年団 宮城県 大和町吉田みどりの少年団 福島県 西山小学校緑の少年団 岐阜県 清見中学校緑化少年団 愛媛県 朝倉緑の少年団
緑の少年団交流大会 みどりの奨励賞 (全国緑の少年団連盟会長賞)	茨城県 東海村立白方小学校緑の少年団 愛知県 宮の森みどりの少年団 島根県 匹見中学校緑の少年団 岡山県 いんべ緑の少年隊 鹿児島県 本城緑の少年団
優良賞	青森県 今別緑の少年団 岩手県 高浜自然愛護少年団 山形県 平野小学校緑の少年団 富山県 細入花とみどりの少年団 福井県 永平寺町上志比緑の少年団 山梨県 都留文科大学附属小学校緑の少年少女隊 佐賀県 山内町船の原緑の少年団 熊本県 高森東みどりの少年団 大分県 高須みどりの少年団 宮崎県 東大宮小みどりの少年団

賞	受賞者
緑の少年団育成成功労団体等 (国土緑化推進機構理事長賞) (団体の部) (個人の部)	徳島県 神山椎茸生産販売協同組合 (神領緑の少年隊ほか2団) 宮城県 佐々木勝義(松島第五小学校緑の少年団)

(6) 令和7年度全国育樹活動コンクール入賞者

賞	受賞者
団体の部 農林水産大臣賞 林野庁長官賞 国土緑化推進機構理事長賞	宮城県 株式会社佐久 山梨県 中央森林組合 鹿児島県 たからべもみじの森の会 富山県 宇波地区 岐阜県 ブラザー工業株式会社 静岡県 特定非営利活動法人北郷創林隊
個人の部 推薦(応募なし)	

(7) 令和7年度ふれあいの^{もり}森林づくり表彰入賞者

賞	受賞者
国土緑化推進機構会長賞	宮城県 特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会 埼玉県 神川町 山梨県 北都留森林組合 鹿児島県 霧島市
国土緑化推進機構理事長賞	岐阜県 和良財産区管理会 滋賀県 葛木生産森林組合 大阪府 特定非営利活動法人日本森林ボランティア協会 山口県 竹林ボランティア山口南 佐賀県 大野岳タイワントツバメシジミ保存会

3. 令和7年度主な広報・普及活動等

項 目	発 行 部 数	主 な 配 布 先
[広 報 活 動]		
「緑の募金だより」の発行	年2回発行 秋 17,000部 春 22,400部	会員、都道府県・緑化推進委員会、林業関係団体、募金協力者等
「緑の募金法制定30周年記念誌」の発行	10,000部	会員、都道府県・緑化推進委員会、林業関係団体、募金協力者等
[普及啓発資料等]		
「緑の少年団情報誌」	8,100部	市町村教育委員会、都道府県緑化推進委員会
「令和8年用国土緑化運動ポスター原画コンクール入賞作品集」	5,000部	応募校、教育長、都道府県・緑化推進委員会
「令和8年用国土緑化運動等ポスター原画コンクール特選作品ポストカード」	5,500部	教育長、都道府県・緑化推進委員会 受賞校、都道府県・緑化推進委員会、募金事業実施団体、関係団体
「緑の募金事業報告集」	WEB公開	都道府県・緑化推進委員会、募金協力者等
「緑と水の森林ファンド公募事業報告集」	220部、WEB公開	都道府県・緑化推進委員会、林業関係団体
「緑と水の森林ファンド都道府県事業報告集」	150部、WEB公開	都道府県・緑化推進委員会、林業関係団体
[緑化推進資材等]		
ポスター（緑化・育樹）	54,000部	都道府県・緑化推進委員会、関係機関
ポスター（緑の募金）	46,610部	都道府県・緑化推進委員会、関係機関
ユニフォーム	890点	緑の少年団、都道府県・緑化推進委員会、関係機関
スカーフ留め具類	1,034点	関係機関
図書(緑の手帳等)	3,552部	都道府県・緑化推進委員会、関係機関
募金グッズ(緑の羽根)	92,000本	募金協力者、林業関係団体等